

「森の草本類の特徴と草刈を学ぼう①(手刈り・貴重種保全)」

日時：令和8年6月20日(土) 9:30～12:30

場所：羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30)

羽根木憩いの森(羽沢2-31)

ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。



練馬区の憩いの森等にみられる希少種や、繁茂に気を付けたい植物、草地の管理方法について学びました。その後、安全管理について確認し、鎌を使った草刈りのデモンストレーションを行いました。

植物観察(クサギ)



保護柵の設置(アマチャヅル)



巻き結び



講義の様子



鎌の使い方



草刈りの様子



道具のお手入れ



森で活動する時に注意すべきこと

講座当日は想像以上の雨となり、一部内容を変更して実施しました。前半は植物観察や巻き結びを学習しました。植物観察会では4種類の在来種のスミレやアマチャヅルなど都市部に減少している植物や身近な植物の特徴を解説いただき、保全したい植物の周囲に保護柵を設置しました。他にも今回の実習地にはなかった「保全すべき在来種」や「繁茂に注意すべき種」については講座資料で確認し、憩いの森等で活動する際には現地にある植物を是非観察してみてください。

後半は鎌を使った草刈りの解説および実習、道具のお手入れ方法を学びました。雨天のため講師によるデモンストレーションと、希望者のみの作業体験となりました。活動時に鎌を使用する際は草の持ち方(親指が上)や刈り方などに注意してください。また使い終わったら道具の個数を数え、お手入れを忘れずに行うようにしてください。

みどりのまちづくりセンター

今回のキーワード「活動で重要なこと」

憩いの森等での活動について、今回は雨天でも講座を行いました。実際には大雨の時に刃物を扱う活動を行うと危険を伴うため、基本的に行わないでください。雨が降っているとフードや傘を差して周りの音が聞こえず、周囲の人や自分に危険が及びます。活動時に急に天候が悪くなった場合も活動を中止するようにしてください。

刃物を使う際の注意点として、活動を開始すると周囲が見えづらくなってしまう。活動前に範囲をメンバー内で共有し、近づき過ぎないようにしましょう。

また刈る植物と保全する植物をメンバー間で共有し、現地には誰でも分かるようにロープ柵をつけることも大切です。憩いの森等はメンバーだけでなく、地域の住民の方も利用しています。地域の理解を得ることも憩いの森等を活動する上で重要なことです。

練馬環境造園協会、株式会社地域環境計画